

施策評価シート【施策体系外（令和２年度分）】

【市長室】

目標	結果
<ul style="list-style-type: none">「平塚市シティプロモーション指針」に基づき、子育て世代を重点ターゲットにシティプロモーションを展開し、本市のイメージ向上と人口の社会増を目指します。	<ul style="list-style-type: none">若い世代にまちへの愛着や誇りを深めてもらうことを目的に、大学生など若い方も登録が可能な原動機付自転車に着目し、平塚市出身のアーティストであるオノルイーゼさんデザインのご当地ナンバープレートを制作しました。また、湘南ベルマーレひらつかビーチパークに、新たなフォトスポットを制作しました。そのほか、新型コロナウイルスの感染拡大により働き方が変化しているなか、テレワークで移住を考えている子育て世代を重点ターゲットにして、本市の魅力を発信する動画を制作し、横浜市営地下鉄、バス、新宿駅の売店のサイネージなどで放映するなどしました。

【企画政策部】

目標	結果
<ul style="list-style-type: none"> ・行政評価を通じて、総合計画の進行管理を行うとともに、総合的・計画的な行政運営の展開を図ります。また、次期総合計画の策定を見据えて、平塚市市民意識調査を実施します。 ・平塚市行財政改革計画（2020-2023）の優先課題として掲げた「民間活力の積極的活用による効率化」と「公共施設の総量縮減による持続的管理」の具現化に向けた取組を推進します。 ・受益者負担の原則のもと、サービス利用者と未利用者における負担の公平性を確保するため、使用料、手数料等の適正化や減免規定の見直しを図るとともに、寄附金等により、歳入確保に向けて取り組みます。 ・タブレット端末を活用したペーパーレス会議の事例集など啓発資料の作成と庁内説明を行い、会議のペーパーレス化を推進します。また、出張先や現場から庁内各システムが利用できるモバイルワークの検証を行い、業務の効率化を図るための活用方法を検討します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・まちづくりの指針の実現に向けて、本市の市政運営を総合的・計画的に進めるため、PDCAサイクルを組み込んだ行政評価などを通して、平塚市総合計画の着実な推進を図りました。なお、市民意識調査については、新型コロナウイルス感染症の流行によって、調査結果に偏りが生じる見込みが高いことから、見送ることとしました。 ・民間活力の活用では、業務委託、指定管理者制度の導入に向けた取組を行うとともに、PPP/PFI手法により、ひらしん平塚文化芸術ホール工事などを進めました。また、公共施設の総量縮減では、平塚市公共施設等総合管理計画の改訂や平塚市公共施設等個別施設計画の策定に向けた取組を進めました。 ・住居表示台帳の写しの交付・閲覧に係る手数料を新たに設定しました。また、公共下水道使用料及び農業集落排水使用料の生活保護の受給を理由とした減免規定を廃止しました。さらに、歳入確保策として、ふるさと寄附金事業では、前年度比798万5千円増の4,112万2千円の寄附金を受領しました。 ・ペーパーレス会議に係る手順書及び啓發文書を庁内に通知することなどを通じて、ペーパーレス化の推進を図りました。また、コロナ危機を契機に、職員が自宅から庁内各システムが利用できるテレワーク用端末を95台導入し、在宅型テレワークの環境を整備しました。

・本市の公共施設について、財政負担の軽減や最適な管理運営の実現に向け、長寿命化や総量縮減を推進するため、基本的な方針を示す「平塚市公共施設等総合管理計画」を改訂し、更に個別施設ごとの具体の対応方針を定める「平塚市公共施設個別施設計画」を新たに策定します。

・「平塚市公共施設等総合管理計画」は、これまでの取組や市を取り巻く状況の変化、国の策定指針の改訂などを反映するとともに、今後10年間の事業実施のための管理目標の見直しを行いました。

「平塚市公共施設等個別施設計画」は、関係課と協議を重ねて素案を作成しました。両計画とも新型コロナウイルスの感染拡大の状況を考慮してパブリックコメント手続の時期を変更したため、令和3年5月の策定となりました。

【総務部】

目標	結果
<ul style="list-style-type: none"> ・ 変革する意欲と実行する行動力を持った職員の育成を目指し、研修を実施します。 ・ 障がい者雇用を推進するため、それぞれの障がいに配慮した職場環境づくりに取り組みます。 ・ 市民・職員にとって快適な庁舎となるよう、維持管理を適切に行います。 ・ 地方税法に基づき、公正、公平な課税を行います。また、税制改正に適切な対応を行います。 ・ 市税の収入確保について積極的に取り組むとともに、令和3年1月稼働予定の新税総合システムを導入します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ研修実施の可否や延期、内容の見直し等を検討したうえで、「働き方改革の推進」「接遇力の向上」「政策立案・形成能力の強化」の研修を実施し、職員の育成に取り組みました。 ・ 障がいに配慮した職場環境の整備に取り組むとともに、従来の職員採用方法を見直し、障がい者の活躍の場の拡充に努めました。 ・ 市民、職員にとって快適な庁舎となるよう、清掃や設備の点検・修繕など、施設の維持管理を適切に行いました。 ・ 地方税法に基づき、公正、公平な課税を行いました。また、平塚市市税条例を改正して必要な規定を整備し、税制改正に対応しました。 ・ 徴収強化により、市税収納率の向上を図り、市税収入を確保しました。また、新税総合システムを令和3年1月に予定どおり導入しました。

【市民部】

目標	結果
<p>・令和元年10月に策定した「マイナンバーカード交付円滑化計画」に基づき、マイナンバーカードの普及に向け交付機会の拡大やマイキーID設定支援などの取組を進めていきます。</p>	<p>・マイナンバーカード交付臨時窓口を拡張するとともに、交付業務に必要な人員を確保し、申請が急増したマイナンバーカードを着実に交付しました。また、マイナンバーカード交付臨時窓口や電子証明書更新窓口との連携により、マイナポイント予約・申込支援事業（マイキーID設定支援）を実施し、来庁した市民に対して適切な支援を行いました。</p> <p>なお、当市のマイナポイント予約実績は64.6%となり、国の目標値である50%を達成した取組が評価され、総務省より全国の自治体に対して優良事例として紹介されています。</p>

【まちづくり政策部】

目標	結果
<ul style="list-style-type: none"> ・都市マスタープランのまちづくりの目標と将来都市像を実現するため、「用途地域等の見直しに係る基本方針」に基づき、見直しの対象となる区域を明確にした用途地域等の変更案を作成し、法廷縦覧や都市計画審議会への諮問等の手続きを経て、用途地域等の都市計画変更を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「用途地域等の見直しに係る基本方針」に基づき、見直し対象区域の建物調査により不適格建築物の棟数等を確認し、変更区域を明確にした用途地域等の変更素案を作成しました。その後の、パブリックコメント手続き、地域説明会及び都市計画手続きについては、新型コロナウイルス感染症の影響により、令和3年度に延期しました。

【土木部】

目標	結果
<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業における中長期的な経営の基本計画である経営戦略を策定します。 ・災害時の避難路を確保するため、狭あい道路の危険なブロック塀の除去を進めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道サービスを持続的・安定的に提供するとともに、中長期的な視点で経営環境の変化に対応し、一層の経営基盤の強化と収支が均衡する持続可能な経営を図るため、今後10年間に目指すべき方向と事業管理のあり方を示す「平塚市下水道事業経営戦略」を策定しました。 ・所有者から申請された4件を処理し、狭あい道路に面する危険ブロック塀の除去を行いました。

【会計課】

目標	結果
<ul style="list-style-type: none"> ・出納機関として、収入・支払事務の適正かつ確実な執行に努めます。 ・安全な公金管理を図るため、社会経済の変化を把握し、会計事務に係る情報及び金融情報等の収集に努めます。 ・財務会計システムの円滑な遂行に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収入・支払事務を適正に執行しました。 ・社会経済の動向把握や金融情報の収集に努め、公金の適正な管理と運用を行いました。 ・関係課やシステム業者と連携を図りながら、財務会計システムの円滑な遂行に努めました。

【議会局】

目標	結果
<ul style="list-style-type: none"> ・本会議、委員会の円滑かつ適切な運営のサポートをします。 ・議会の活動を市民に分かりやすく伝えるよう取り組みます。 ・議会の会議運営や議長及び議員に係る事務を的確に処理します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各定例会、臨時会において瑕疵のない議会運営を行いました。 ・CATV 及びインターネットによる会議内容の放映（本会議）、また、議会だよりや会議録の作成及び市HPでの公開などにより、議会情報の提供を図り市政への関心を高めることに努めました。 ・議員の庶務的なサポートを行い、議員が議会活動しやすい環境づくりに取り組みました。また、政務活動費の適正な支出確保へ適切な助言を行い、支出の透明性確保策として市HPで各議員の収支報告書等の公開を行いました。さらに、各種議長会での諸課題等の情報交換を議会運営に役立てました。

【選挙管理委員会事務局】

目標	結果
<ul style="list-style-type: none"> ・公職選挙法その他関係法令に基づき、選挙が的確に管理執行できるよう準備を行います。 ・有権者の選挙に対する関心や投票に対する意識の高揚を図るため、選挙啓発活動や周知等を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年10月に任期満了となる衆議院議員総選挙を的確に管理執行できるよう準備を進めるとともに、期日前投票所増設の準備や投票所における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策物品の購入など、有権者の投票環境の向上に向けた取組を行いました。 ・特に若年層有権者や将来の有権者の政治や選挙への関心を高めるため、明るい選挙推進協議会と連携した啓発標語の募集などの他、新有権者へのバースデーカードの送付、若年層の期日前投票立会人の募集、生徒会選挙への投票器材の貸出しなど各種啓発活動を行いました。

【監査委員事務局】

目標	結果
<ul style="list-style-type: none">・ 監査等実施計画に基づく定期監査、現金出納検査、決算審査等について、監査委員による監査が円滑に執行されるよう、的確に補助を行います。・ 財務事務の適正性、行政執行上の効率性や有効性等の監査精度の向上を図るため、また、公営企業会計の検証等に適切に対応するため、事務局職員の能力の向上に努めます。	<ul style="list-style-type: none">・ 定期監査、現金出納検査、決算審査等について、職員調査を的確に行い、年間計画どおり監査を実施しました。・ 専門的研修への参加等により、職員の能力向上を図りました。

【病院事務局】

目標	結果
<ul style="list-style-type: none">・ 将来構想に基づく取組を着実に進めることにより、経営改善を図り、病院運営の健全化を目指します。また、将来構想改訂版の策定を行います。・ 診療報酬の加算等を取得し、引き続き収益の確保に努めます。	<ul style="list-style-type: none">・ 将来構想に基づく取組を進めましたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、医業収支は前年度と比較し大きく悪化しました。一方で、新型コロナ関連の補助金の活用により、経常収支は黒字になりました。また、将来構想改訂版の策定を行いました。・ 主な施設基準として、医師事務作業補助体制加算1（25対1）や地域医療体制確保加算を取得し、収益の確保に努めました。